



愛の郷サマーナイトキャンプ in 2016

8月18日～19日の2日間にわたり、「愛の郷サマーナイトキャンプ」を実施しました。

このキャンプは、児童健全育成ならびに福祉教育の一環として毎年夏に実施しています。福祉センター愛の郷で一泊し、集団生活のルールやマナーの大切さを学び、福祉についての関心を高めることを目的としています。

今年は、町内の小学校から4～6年生18名の児童が参加し、ブルーメの丘でソーセージ作り体験をしたり、愛の郷でデイサービスの寝台浴の見学や、多様な考えや意見をお互いに知り合う防災・減災ゲーム「クロスロード」、赤い羽根共同募金運動についての学習や募金箱作りをして過ごしました。



AISHO

社協
2016.9 第42号
ずいしょう

内容

- contents
- 2 会長就任のあいさつ、新役員の紹介
 - 3～4 平成27年度 事業・決算報告 他
 - 5～7 第1次地域福祉活動計画の振り返り
 - 8 おしらせ

発行者 社会福祉法人 愛荘町社会福祉協議会

愛知川事務所 滋賀県愛知郡愛荘町市731番地 TEL 0749(42)7170 FAX 0749(42)7178
 秦荘事務所 滋賀県愛知郡愛荘町安孫子1216番地1 TEL 0749(37)8063 FAX 0749(37)4343 有線2043

役員改選される

社会福祉法人制度改革に向けて、平成28年3月31日に社会福祉法の一部が改正され、平成28年度より段階的に施行され

会長就任のあいさつ

「笑顔あふれる
福祉のまちづくり」を
目指して



愛荘町社会福祉協議会
会長 成宮 純一

平素は、愛荘町社会福祉協議会の活動、事業に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたびの役員改選におきまして、再び会長の重責をお預かりすることになりました。もとより浅学非才の身でありませんが、皆様のご指導・ご鞭撻をいただきながらその責務を全うしてまいりますのでよろしくご願ひ申し上げます。

さて今日、少子高齢化や家族機能の低下、地域のつながりの希薄化などが進む中、孤立死やひきこもり、経済的困窮、子育て、虐待、災害弱者などの問題が大きくなってまいります。

本会では、社会の変化に対応して、「みんなが進める笑顔あふれる福祉のまちづくり」を理念に地域福祉活動計画を策定し、地域福祉を計画的に推進してまいり

ており、平成29年度からは定款変更や理事・監事・評議員の定数、任期などが改正されることから、今期の改選にあたっては制度改革への対応など移行準備のため重要な任務に引き続き就任いただくこととなりました。

今年度は、平成24年度に策定した第1次地域福祉活動計画の最終年度でありさらなる地域福祉活動の充実発展に努めるため、平成29年度からの第2次地域福祉活動計画の策定に取り組みます。

また、平成27年度の介護保険法改正に伴い、介護予防事業の訪問介護・通所介護サービスが平成29年度から新しい介護予防・日常生活支援総合事業となることから、移行に向けた取り組みを進めます。

さらに、複雑多様化する新たな生活課題や福祉課題などの相談支援、経済格差など貧困の連鎖による生活福祉資金の貸付、生活困窮者自立支援や権利擁護支援事業のほか、新たに被保護者つなぎ資金貸付事業を実施するほか、住民主体のボランティアセンターの運営強化や活動の充実、子育て支援拠点事業などを関係機関や地域、企業、学校などと連携して取り組みます。

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、「くらしの課題をもとに考えともに歩める場をつくる」を目標に、役員一丸となって事業・活動に取り組んでまいりますので、関係機関ならびに町民の皆様の一層のご支援、ご協力をお願いいたします。就任の挨拶といたします。

新役員を紹介します

◆平成28年度第2回理事会

任期満了（平成28年7月3日）に伴い、本会役員が改選されました。

各福祉団体や施設等からの推薦を受け、7月1日開催の評議員会で選任され就任されました。

就任された役員は、次の方々です。なお、制度改革に伴い、役員の任期は平成29年5月下旬となります。

【理事】

選出区分	氏名
行政機関	岡部 得晴
民生委員児童委員協議会	北川 孝子
民生委員児童委員協議会	治武 純一
福祉施設代表	村木 守
福祉団体代表	宇野 重一
地域代表	北村 太郎
地域代表	村川 清
地域代表	成宮 純一
地域代表	三浦 勝治
ボランティア代表	磯嶋 喜久夫
識見を有する者	北川 修
識見を有する者	杉本 栄子
社協法人施設長	福田 俊男

【監事】

選出区分	氏名
識見を有する者	前川 豊美
識見を有する者	辰己 喜一郎

役員改選に伴い、7月4日の理事会において、会長、副会長の選任および常務理事が指名されました。

役職名	氏名
会長	成宮 純一
副会長	北村 太郎
常務理事	福田 俊男

(敬称略順不同)



私たちが新理事・監事です！よろしくお願ひします！

平成27年度 愛荘町社協の事業ならびに決算報告

事業総括

愛荘町社会福祉協議会では、愛荘町立福祉センター愛の郷およびラポール秦荘いきいきセンターを活動拠点に、平成27年度からの3年間引き続き両施設の指定管理者として愛荘町より指定を受け、各種の事業展開に取り組みました。

法人運営においては、愛荘町と災害発生時における福祉避難所の設置運営に関する協定書を締結したほか、特定個人情報等の管理体制の整備や財務諸表の公表など、事業運営の透明性の向上とコンプライアンスの確保を図りました。さらに、社会福祉法人制度改革への対応や平成28年度から施行された障害者差別解消法の理解を深めました。地域福祉事業においては、第2次地域福祉活動計画(計画期間は平成29年度から)策定に向けて、約600世帯を対象に住民意識調査を実施しました。また、滋賀県より生活困窮者自立支援事業を新たに受託し、生活困窮者の支援のほか、要援護者などへの見守り活動(いきいき見守り訪問事業)やボランティアセンターの運営強化に取り組みました。

在宅福祉サービス事業においては、介護報酬の減額改定により厳しい運営を迫られ、市町村が実施する介護予防・日常生活支援総合事業を平成29年度までに制度移行する必要がありますが、事業展開に向けての検討を重ねました。居宅介護支援事業については、困難事例が増加するなど依然として厳しい運営となっています。生きがい対応型デイサービス事業については、特定高齢者を対象に介護予防事業を愛荘町より受託し、継続した取り組みに努めました。

就労支援B型事業(ふれあい共同作業所)については、一部報酬改定があったものの利用者の増加などにより職員(生活相談員)1名を増員し、処遇の改善に努めました。しかし、受注作業量の減少と利用者の高齢化や重度化により作業収入、工賃ともに前年度を下回りました。

主な事業

地域福祉事業

身近な地域で対話と交流の場 づくりをすすめる活動

◆福祉教育コーディネート

地域のサロンや各小・中・高等学校などで福祉教育を行いました。(内容:アイマスク・手話体験、防災・減災ゲーム、エンディングノートなど)

◆サロン活動支援事業

サロン活動者等の勉強会や情報交換の場として「サロンボランティア憩いの場」を年6回実施しました。29自治会、延べ91名の方が参加してくださいました。

◆高齢者等ふれあいサロン活動助成事業

39カ所のサロンに活動費として122万3千円の助成を行いました。また、「あったかほーむなごみ」の郷に活動費として5万円の助成を行いました。

みんなで支える 地域のつながりづくり

◆地域福祉活動推進会議

区長、民生委員児童委員、福祉推進委員を対象に、テーマを通じた会議を実施しました。

◆見守りサポート会議

25自治会を訪問し、区長や民生委員児童委員等と一緒に地域の課題検討や情報交換を行いました。

「へうし」の課題の 解決に向けた活動づくり

◆いきいき見守り訪問事業

身近な地域住民が、ひとり暮らし高齢者世帯などの見守りを希望する家庭を月2回訪問し、声かけや安否確認などを行いました。14自治会で取り組み、70名の方が登録をされました。

◆ボランティアセンター運営事業

ボランティアセンター設置運営要綱を改正し、新しい運営委員会を設けてボランティアや関係機関・団体とともに運営を進めました。ボランティア登録は、「個人」が368名、「グループ」が45グループ。また、災害ボランティアが8名です。

法人運営事業

社会福祉協議会の基盤強化

◆社協あいしょうの発行とホームページの運営

地域の住民や企業等に、社協の事業等についての情報を発信しました。

◆地域福祉活動推進委員会

委員会を年3回開催し、第2次地域福祉活動計画策定に向けて、第1次計画評価と住民意識調査分析結果を基に検討を行いました。

在宅福祉サービス事業

介護保険事業

◆居宅介護支援事業

・利用延人数

763名

◆訪問介護事業

・利用延人数

408名

◆愛知川通所介護事業

・利用延人数

2,767名

◆秦荘通所介護事業

・利用延人数

4,267名

就労継続支援事業

◆ふれあい共同作業所

・利用延人数

3,504名

生きがい対応型デイサービス事業

◆デイサービスセンターやすらぎ

・利用延人数

1,559名

子育て支援事業

◆わんぱくひろば

・開所日数

141日

・利用延人数

6,647名

指定管理事業

◆福祉センター管理事業

施設来館者利用状況

・愛の郷

23,491名

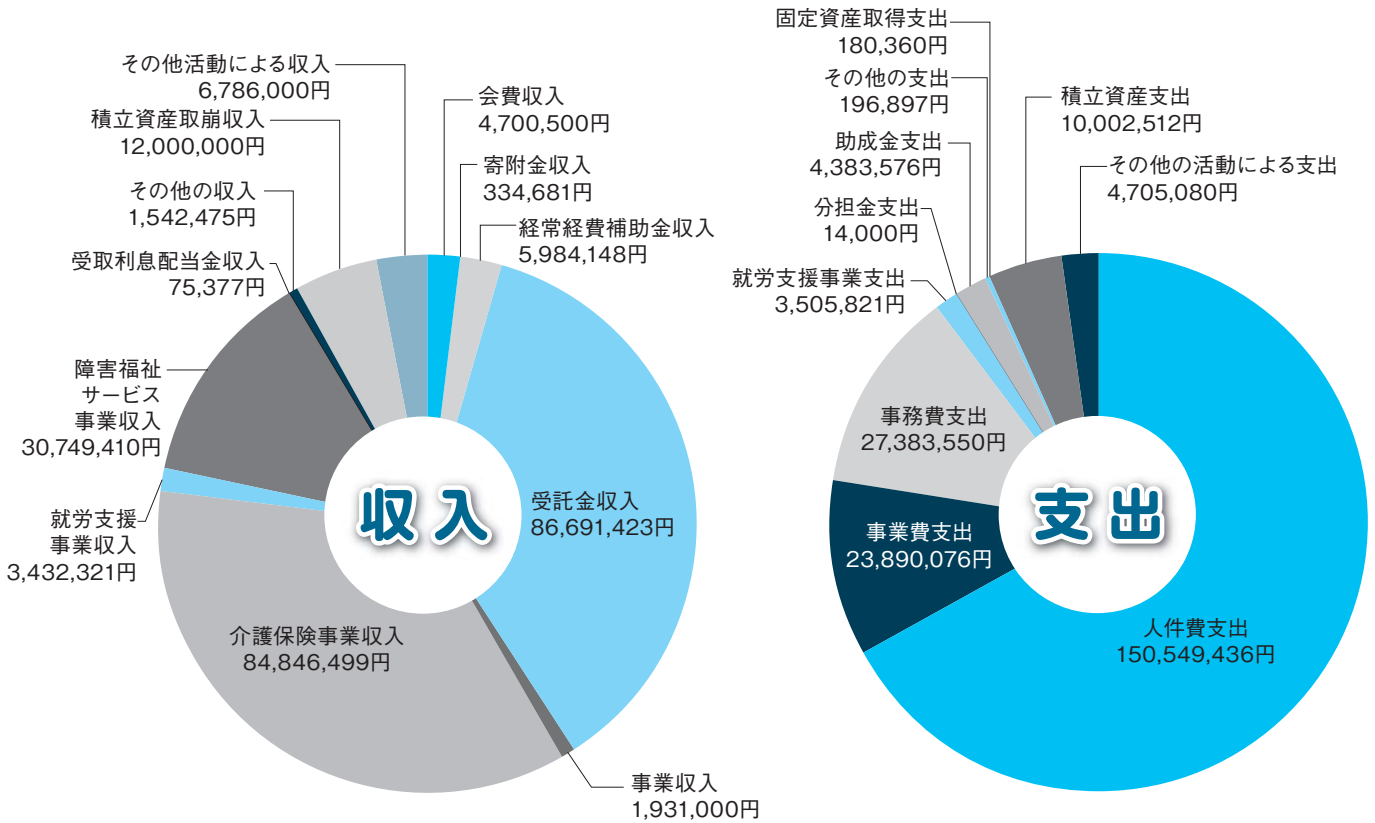
・いきいきセンター

12,959名



決算

5月に開催しました理事会・評議員会において、平成27年度事業報告・資金収支決算が承認されました。



【収入合計】2億3,907万3,834円

【支出合計】2億2,481万1,308円

【当期末資金差額】1,426万2,526円

みなさまの温かいお気持ちに感謝します。

善意銀行だより

みなさまの善意を地域福祉の推進に役立たせていただきます。また、お米や物品をいただいたものは各種事業や活動に活用させていただいています。

【ご寄付いただきありがとうございます。】

- ・愛荘町陶芸クラブ …………… 20,000円
- ・愛荘町ボランティア協議会「つむぎ」 …… 3,323円
- ・匿名 …………… 50,000円
- ・深雪アートフラワークラブ …………… 2,909円
- ・匿名 …………… 7,205円

(敬称略順不同)
(平成28年3月1日～8月31日)

見守り活動への協賛について

地域ぐるみでの見守り活動を推進していくために、「いきいき見守り訪問事業」として、地域の一人暮らし高齢者や高齢者世帯等を見守り協力員が訪問しています。社協では、訪問時に見守り協力員が持参する協賛品を募集しています。詳細は、愛荘町社協(愛知川事務所)までお問い合わせください。
※自治会により取り組み状況は異なります。

【ご協力いただきありがとうございます。】

- ・西沢 世津子 …………… コースター100枚
(7月21日に活用させていただきました。)
- ・布絵本ボランティアコスモス会 …… 多数の折鶴
- ・い〜すと・キッズ …………… 暑中見舞いハガキ52枚

(敬称略順不同)
(平成28年3月1日～8月31日)

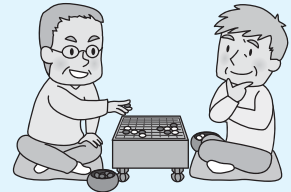
「第1次愛荘町地域福祉活動計画の活動報告」(計画期間:平成24年4月~平成29年3月)

町民のみなさまとともに考え、ともに歩める場づくりの取り組みを振り返ります。

基本方針 1

身近な地域での対話と交流の場づくり

日常生活を大切にしながら、一人ひとりの「気になること」や「こんな暮らしをしたい」という願い等をみんなで話し合い交流の場をつくりました。



【地域の場づくり】

地域の困りごと・心配ごとなどをみんなで考え、集まる場づくりに取り組みました。

★見守りサポート会議

地域の困りごとなどを協議する場として、区長・民生委員児童委員・福祉推進委員を中心に自治会ごとに開催しています。

★高齢者ふれあいサロン

地域の高齢者が気軽に集える場(サロン)を、地域住民が主体となり運営しています。

(平成27年度 39カ所で実施)

★サロン活動の支援

活動費の助成やサロンボランティア交流会(年6回)を開催しました。



★みなさんの声

- ・「近所のつながりが無くなってきている。区民のみなで支え合うことが必要だ」
- ・「災害なども視野に入れた、日常の見守りの仕組みがいるなあ」
- ・「地域のサロンには男性の参加が少ない。参加されない男性の要望は何だろう」

これらの声からニーズを整理して、みなさんと一緒に解決していくための活動を考えていきたいと思えます。



【福祉教育】

子どもたちや地域のみなさんと一緒に福祉について学び・体験をおこないました。

愛荘町内の小・中・高等学校と連携し、授業の場で福祉について学びます。

障がいをもたれている方やボランティアの方にも協力いただき、地域のみなさんと一緒に取り組んでいます。

また、地域の老人会やサロン活動などで住民のみなさんと一緒に福祉にふれる機会を設けています。

(平成24年度~平成27年度 延べ実施28カ所)



【みんながつどえる場】

みんなのつながりの場になるよう、福祉センターを活用しています。



★いきいきギャラリー開催

福祉センターラポール秦荘いきいきセンターの玄関ホールにおいて、定期的に地域のみなさまの作品展示をおこないました。

(平成26年度10回・平成27年度11回)



★子育て支援事業「わんぱくひろば」

福祉センター愛の郷において、未就学の子どもと保護者がつどえる場づくりをしています。

ひろばでは、地域の子どもたちを地域で支えていこうと、多くのボランティアの方にご協力いただいています。

(平成27年度 延べ利用者数6,647名・ボランティア協力者数289名)

基本方針 2

「くらしの課題」の解決に向けた活動づくり

ボランティアや見守り等の福祉活動を充実し、
住民の「くらしの課題」に対応した活動づくりをおこないました。



【ボランティアセンター】

★ボランティアや関係機関の方と一緒に、「ボランティアセンターあり方検討委員会」を設置して、運営方法や活動について検討を行い、これからの愛荘町ボランティアセンターへの再構築を目指しています。

- ・みんなで考え活動するボランティアセンターを目指して運営委員会を設置しました。
- ・ボランティア受入機関などの連携を強化して、ボランティアのつながりを広げていきます。
- ・ボランティア登録情報 センター登録者数418名(内、個人登録者数368名)
グループ登録数 45グループ



愛荘町には、多彩な特技や趣味を活かしたボランティア活動者が多くおられます。これからも、みんなで元気で楽しい町にしていきたいですね。



【おたより見守り訪問活動】

★新興住宅地の各ご家庭を、町内の子育て情報を持って、地域の民生委員児童委員・主任児童委員と一緒に訪問しました。地域の身近な相談窓口である民生委員児童委員・主任児童委員との関係を築き、**みんなが安心して暮らせるまちづくり**を進めました。

- (例) 豊満地区 平成 25 年度 1 1 3 件訪問(案内を手渡しした件数 44 件)
平成 26 年度 1 3 1 件訪問(案内を手渡しした件数 44 件)
平成 27 年度 1 2 4 件訪問(案内を手渡しした件数 82 件)

【民生委員児童委員さんの声】

3年間、継続して活動しています。継続することで直接出会って話ができる方も増えてきました！

【福祉推進委員の活動】

★福祉推進委員と一緒に地域の福祉活動を進めました。小学校区ごとに開催している地域福祉活動推進会議や自治会単位で取り組む「見守りサポート会議」に参画していただきました。活動としては、これまでからの各地域での活動(ふれあいサロン等)の他に、「いきいき見守り訪問事業」や「見守りサポート会議」のメンバーとして活躍されています。

*委員数 平成27年度 128名



計画を進める中で 新しく出来た活動紹介

【いきいき見守り訪問事業】

月2回(第1・3木曜日)に地域の見守り協力員がプレゼントを持って登録者さん宅を訪問します。

基本方針 3

みんなで支える地域のつながりづくり

住民による福祉活動と専門機関等がつながることにより、

みんなで支えるためのネットワークづくりに取り組みました。



【見守りサポート会議】

★活動計画策定後の重点取り組みとして、自治会単位で実施していただいています。

区長・民生委員児童委員・福祉推進委員等が集まり、地域の福祉活動（見守りをキーワード）について情報交換や協議をしています。

自治会が主体的に開催され、先進地へ視察研修に出かけるなど、「私たちの住むまちの福祉」について熱心に協議されています。（平成27年度で9自治会が主体的に開催されています。）また、関係機関として町福祉関係職員も参加いただきネットワークが広まりました。



【民生委員児童委員活動】

★地域の身近な相談窓口である民生委員児童委員・主任児童委員とともに、様々な地域の福祉課題に対する取り組みを協議しています（「パートナーミーティング」と呼びます）。

・現在8回開催

・協議内容：歳末たすけあい募金の使い道、見守り訪問活動、子育て支援事業 など



【福祉施設等とのネットワーク】

★ボランティアセンター事業として、福祉施設や関係団体・機関のネットワークづくりのために、ボランティア担当者連絡会議を設置しました。

まずは、ボランティア活動の視点から、関係者で情報共有や話し合いを進めながら福祉のまちづくりを考えています。

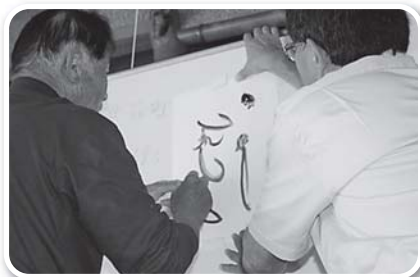


【コミュニティーワーカー活動】

★社協事務局内に中学校区単位の地域担当者を設置して、地域の福祉活動についての調整や相談支援を充実しました。

相談件数 平成24年度73件 平成25年度100件 平成26年度111件 平成27年度111件

また、自治会ごとに地域情報や福祉活動の取り組みを整理するファイルを整備して、自治会に合わせた支援内容を検討しています。



「コミュニティーワーカー」地域の福祉活動や話し合いの場に参加し、暮らしの困りごとや心配ごとの解決に向けて住民のみなさまと一緒に取り組みます。必要に応じて、ボランティアや専門職員等と地域をつなぎます。



現在、次期計画策定に向けて町民のみなさまと共に検討を進めています。


1次計画の課題や今日の地域福祉の課題を話し合い、これから必要となる取り組みや活動を考えられています。

今後も「みんなで進める笑顔あふれる福祉のまちづくり」にご支援ご協力をお願いいたします。

わんぱくひろばにおいでよ♪

この広場は未就学児の親子を対象に、指導員や地域のボランティアさんを中心に身近な場所で「ほっ」とできる交流の機会や安全な遊び場づくりなど、子育て支援をおこなっています。

開催日時

時間 曜日	9時～12時	13時～15時
月	わんぱくひろば	
水		
木	第1：わんぱくサロン 第2：わんぱくカフェ 第3：わんぱくサロン ★お誕生日会 第4：わんぱくカフェ	

※祝日はお休みです。また、暴風警報等が発令された場合もお休みさせていただきます。

※お誕生日会に参加される方は、11:00までに受付を済ましていただくようお願いします。

【場所】福祉センター愛の郷

【対象者】就学前の子どもと保護者

【持ち物】水分補給のためのお茶をご持参ください。



①ランチを持ってきて食べることができます。

②わんぱくカフェ：ティータイムに参加される方は
飲物代 50 円をいただいています。

★11月9日(水)読み聞かせボランティア

「月のくまさん」が来られます！

★発達相談や育児相談もおこなっています。

臨床心理士さん…10/20(木)・11/24(木)の午前中
助産師さん…毎月第2木曜日の午前中
(赤ちゃんの体重計測できます)

「ちょっと話を聞いてほしい」
という方は、受付にてお気軽に
指導員まで声をお掛けください♪



※上記お問い合わせは、愛の郷（愛知川事務所）までどうぞ。

ひとりで悩むより 一緒に考えませんか？



社協は、地域で生活をしていくうえでの相談窓口として、相談事業を行っています。

福祉相談（随時）

この相談所は、職員が町民みなさまの福祉に関する相談の窓口として、随時、社協の各事務所で開設しています。匿名での相談もかまいません。

心配ごと相談所

この相談所は、民生委員児童委員などの相談員さんが町民みなさまの生活に関するあらゆる相談の窓口として開設しています。匿名での相談もかまいません。

9～12月の開設日は次のとおりです。

月	日	時間	場所
9月	21日(水)	13:30 ～ 15:30	愛の郷
	28日(水)		いきいきセンター
10月	5日(水)		愛の郷
	12日(水)		いきいきセンター
	19日(水)		愛の郷
	26日(水)		いきいきセンター
11月	2日(水)		愛の郷
	9日(水)		いきいきセンター
12月	16日(水)		愛の郷
	7日(水)		愛の郷
	14日(水)		いきいきセンター
	21日(水)		愛の郷
	28日(水)	いきいきセンター	

※心配ごと相談は、電話での相談もお聞きしています。

電話番号 愛の郷 42-5843 (直通)

いきいきセンター 37-8063 有線2043

◎行政相談所 毎月第2水曜日 愛の郷

◎人権相談所 毎月第4水曜日 愛の郷

愛の郷・いきいきセンターは、土曜日・祝日も開館しています。町民のみなさまのご利用をお待ちしております。

愛荘町共同募金委員会から 熊本地震災害義援金募金についてのご報告とお礼

被災された方々に、心よりお見舞いを申し上げます。

みなさまの温かいご支援、誠にありがとうございます。本会にお寄せいただいた義援金の総額は下記のとおりとなりました(平成28年8月10日時点)。義援金は、被災地である熊本県共同募金会へ送金させていただきました。

なお、義援金は、引き続き平成29年3月31日まで受付しています。

義援金総額 149,440円



(愛知川小学校運営委員会の皆さんより募金)